

平成25年3月3日の定期保守作業

今回は、午前中に芦屋町でのD60 61号機の保守作業を実施致しました。

修復からほぼ1年が経過した今回の作業では、いくつか「残念な事象」が見られました。

かねてより「イタズラとかされなければいいけどねぇ・・・」と話してはいたのですが、現実のものとなってしまいました。

幸い、大事には至りませんでした。今後が心配されます。

午後からはいつも通りの作業でしたが、FBS「めんたいワイド増刊号」の取材が入り、メンバーはいつも以上に気合十分で作業にあたったそうです。なお、放送は3月10日(日)に行われました。

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
		<p>いつも通りの作業風景に見えますが、一番手前にいる男性の足元をよーくご覧下さい。</p>
		<p>何と、コンクリートブロックが置かれていました(赤丸部分)。2ヶ月前の作業ではもちろん無かったものです。ということは、誰かがフェンスを乗り越えて侵入した、という事になります。</p>
<p>①D60形 61号機</p>		<p>コンクリートブロック以外にも、フェンス内には拳くらい大きな石も見つかりました。投石によるとみられる車体へのダメージは見当たりませんが、被害を未然に防ぐ目的で、機関車周辺の目立つ大きさの石を除去させて頂きました。</p>
		<p>後方ライトの配線外れも見つかりました。自然の力で外れるような構造ではないため、何かがココに登り、配線を引き抜いたたものと思われる。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
①D60形 61号機		<p>引き抜かれた配線を繋ぎ直し、無事ライトが点灯するようになりました。</p>
		<p>ボイラー上にも異常が。ホイッスル(汽笛)に繋がる金属の棒状部品が写真のようにグニャリと曲がっていました。勿論、修復時点では真っすぐしていたものです。何者かがココによじ登って変形させたと思われます。</p>
		<p>曲がった部品を伸ばして真っすぐにしました。修復を行ってから間もなく1年。こういった行為を常日頃から心配していましたが、とうとう現実のものとなってしまいました。これまで約1年間、美しい姿を保っていただけに残念でなりません。これからも末長く美しい状態で残していくために、一人ひとりのモラル向上を希望します。</p>
②9600形 59647号機		<p>何だか妙に気合いが入った面々。その理由は・・・</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
<p>②9600形 59647号機</p>		<p>テレビの取材が入っていました(^o^) FBS(福岡放送)「めんたいワイド増刊号」で取り上げて頂く事になりました。</p>
		<p>レポーターは番組MCを務める伊藤舞アナ(中央)。 先ほどのミョーな気合いの入り方も納得・・・ (放送は3月10日に行われました)</p>
<p>③C61形 61号機</p>		<p>「ハイ、こっち見て～」でバシヤリ！ 汽車磨きも良いですが、新しい鉄道サウンドの方も直しく願いますね！</p>
<p>④D51形 225号機</p>		<p>午後の部から参戦の方も加わり、賑やかな感じに。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
④D51形 225号機		<p>抜けるような青空の下、ボイラー上部を綺麗にするメンバー。黒とスカイブルーのコントラストが綺麗です。</p>
⑤いすゞキュービック 国鉄バス		<p>外装の修理を終え、新車のような姿となった国鉄バス。(写真は中間市・垣生公園の駐車場にて撮影)</p>
		<p>外装に負けないよう内装もキレイにしておかないと、という訳で床を掃きました。</p>
		<p>ホイールナットを黄色く塗っていますね。オシャレは足元から」という訳ではないのですが、白いホイールの中で黄色は良いアクセントになるかと。もっとも、黄色を塗る理由は全く違うと思いますが。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
		<p>穴だらけだった前面は、FRPやパテを駆使してここまで修復されました。</p>
<p>番外編：C11形 260号機</p>		<p>腐食で完全に抜け落ちていた床板は、新規に作り直しました。</p>
		<p>フレーム自体が腐食して失われ、外板が宙ぶらりんになっていた運転室部分は、フレームから作り直してご覧の通り。 窓枠／棧の部分も作り直してピシヤリと決まりました。 天候に恵まれなかった上、予想以上に状態が悪かった運転室の修復作業に時間がかかったりして「桜の花が咲く頃」に完成するのか、かなり厳しい状況との事。何とか間に合わせるべく、作業しています。</p>